

夏季少年のバス

青少年育成町民会議主催 / 夏季少年のバス / 宿泊体験学習

自然から学ぶ。

新型コロナウイルスの影響で失われていた体験の機会。この夏、ウィズコロナで事業を進める町の方針を受けて、自然学習「少年のバス」は再開に向けて一歩を踏み出しました。

**工夫と対策でたどりついた
3年ぶりの事業再開**

コロナ禍も3年目を迎えた今年、町はウィズコロナの方針を掲げ、止まっていた事業も少しずつ再開へと舵を切り始めました。青少年育成町民会議主催の夏の恒例行事「夏季少年のバス」もその一つです。子どもたちの失われている体験活動の場を提供したいとの思いから、半年前より検討を開始。参加人数の半減、県外開催を県内に変更、感染対策の徹底など、時代に合わせた開催方法を模索し、ついに3年ぶりの実施にたどりつきました。

**日常を離れて集団生活へ
自然体験が成長を育む**

募集の結果、今回は19人が研修に参加。天候にも恵まれ、2日間の研修は子どもの笑顔があふれていました。参加者は普段とは違う仲間たちと、沢登りや調理、キャンプファイヤーなど大自然を満喫。事業終了後、主催の二場研修部会長も「仲間との集団生活、自然の中でしかできない特別な体験は、子どもの将来に必ずいい影響があると思っています。久しぶりの光景に感無量でした」とほほを緩ませました。

長い自粛期間を越えて実現した野外研修。自然の中で過ごした時間は、かけがえのないひと夏の思い出となりました。



表紙は流しそうめん台を作っていました!



●なんでも流しそうめん

野菜やちくわなど様々な食材を流す「なんでも流しそうめん」を参加者全員で準備。流し台まで手作りし、自分の手で完成した昼食は格別の味わいでした。



●城井川探検(沢登り)

安全に十分注意しながら、川遊びと沢登りを体験。岩が険しく難しい場所も仲間と協力して乗り越え、冷たい水の中を進み夏の魅力を満喫しました。



●火起こし体験

昔ながらの木をすり合わせるまい切り式で、火起こしを体験。なかなか点かない火に苦戦しながら、自分たちで考え、工夫する楽しさを感じることができました。

日程 **8/20[土]・21[日]**
1泊2日

参加者 **小学4年生～中学2年生**
(金田義務教育学校4年生～8年生)

場所 **牧の原キャンプ場**
(福岡県築上町)



●キャンプファイヤー

日頃見ることのできない大きな火に参加者も大興奮。焼いて食べるマッシュマも好評でした。最後は全員で火を囲み、一日の思い出を締めくくりました。



●海岸・神社散策

片付けを終えてキャンプ場を出発した後、近くの浜の宮海岸と綱敷天満宮へバスで移動。海岸での貝殻拾いや神社参拝を楽しみ無事に帰路につきました。



Schedule - スケジュール

Day 1
8:00- 福智町出発
10:30-12:00 昼食準備
12:00-13:30 流しそうめん
13:30-15:30 城井川探検
16:00-19:00 火起こし・夕食
19:00- キャンプファイヤー

Day 2
8:00- 起床・朝食
9:00-12:00 ハイキング
12:00- 昼食(弁当)
14:00-15:30 散策
17:00- 解散

代表で火の精にもなりました!

他の参加者は全員年下でまとめられるか不安でしたが、とてもいい経験になりました。普段と違うことをして、新しい仲間ができてとても新鮮。今後も色々な活動に参加してみたいと思いました。



金田義務8年生 1班班長
伊藤 明希さん



青少年育成町民会議 研修部会
二場 和雄 部会長

まずは無事に研修を終えたことが何よりです。2年間の自粛といえども子どもにとっては今しかない貴重な時間。今回参加した子が、来年また成長してくれた姿を見せてくれる。そのためにもこの活動を守り続けたいと思います。

